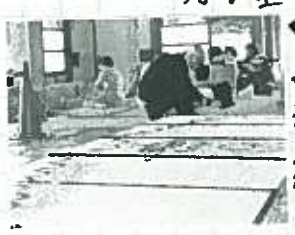
弘濟寺かわら版

第39号
平成22年8月12日発行
弘濟寺　玉野千永編集
弘西寺131　0465(74)1717
弘濟寺　検索

第十二回 地蔵まつり 無魔成満御札

雨の心配をせずに迎えた地蔵まつり。いやあそれにしても暑かった。そんな暑い中行われた今年のメインイベント。田中太山先生による書画ライブ・パフォーマンス。打合わせの時に、一体何に書くのか悩みました。「先生のホームページではロビンソンで巨大な紙3枚に仏様と先生オリジナル笑文字が書かれ、あの広いホールにダン・ダン・ダンって吊り下げられ、ものすごい迫力でした。」お寺で書くとなると……の。紙？屏風？衝立？襖？……襖!!。ということで客殿のいつもは取り外されているほうの襖。（これがこの間の襖の張り替えなかったのが良かった。）とてもいい具合に黄ばんでいる。先生にも気に入ってもらい、この襖に決定。という訳で地蔵まつり当日12時から本堂にビニールシートを敷き詰めバケツみたいな先生書き始める。それから延々三時間半。先生まみれて書いてくれた襖は、凄い。凄い迫力……カワイイ♥　今襖は客殿にはめられています。見に来て下さい。今なら拝観無料(笑)です。



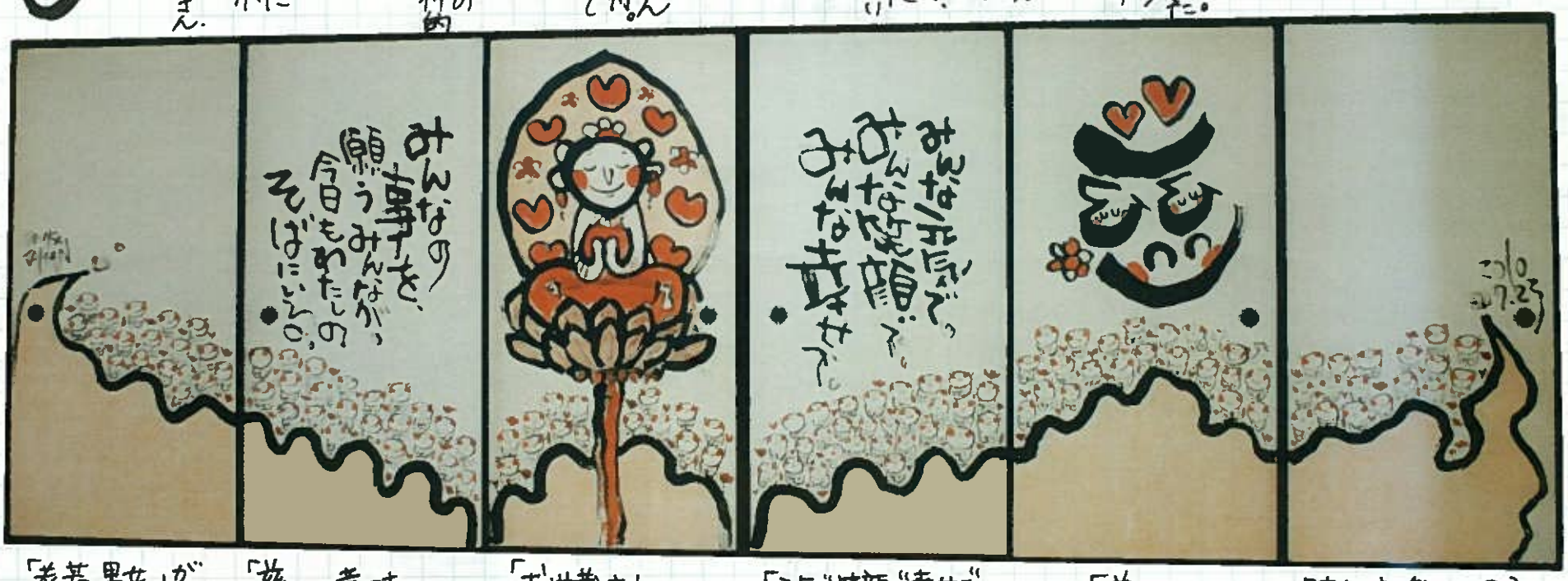
←墨汁入れを抱えて、が、汁にというより是非

そして地蔵ナイトはこのかわら版にもチラ登場してくれていた、落語家の桂米裕さん。題目は時うどん。プロの迫力は凄いですね。いつの間にか話に引き込まれ、うどんを食べたくなったところに、万葉うどんさんの本物のうどんのお接待。が食べたくなったところに、万葉うどんさんの本物のうどんのお接待。これは米裕さんのように食べなければジュルジュルジュルジュルって美味しいわああ。

あ～そうそう、食べ物の話だけじゃなくて、お笑い説法もしてくださいました。怒りがおさまる「あっそう」の話。クリスマスも受け入れる「八百万の神的意味をもつ真言宗」おうちで唱える「おんさんまやさとばんの意味」などなど、とても笑えて勉強になりました。

こんな田舎の弘濟寺に来てくれたお二人に感謝です。そして今年も盛り上げてお小遣いを稼いでいったキッズフリマの子供達、中学生スタッフ、お手伝いしてくれたみなさん、お隙様で今年も無事地蔵まつりが開催できました。

ありがとう



※ちょっと曲がっている写真でスミマセン

「老若男女」が集まれるお寺。
「慈」の意味。
「お地蔵さん」
「元気で笑顔で幸せで」あるためのお手伝いができるお寺でありたいです。
「慈」
「喜怒哀楽」のあるいろんな人達

寺カル

お申込は 0465(74)1717 kosaimitsuji@ybb.ne.jp

あの笑文字塾デス ◎田中太山 地蔵塾◎

- 日時：8月20日(金) 19:00～20:00
  9月 3日(金) 19:00～20:00
- 場所：弘濟寺境内離れ（ばーにはぴすぎ）
- 参加費：1000円／1回
- 持物：書道セット、半紙50枚、新聞紙1日分、汚れてもいい服で

※1回だけでも、親子でも、子どもだけでもOK。
※筆で書くってこんなに楽しいんダ♥ あなたも今日から芸術家。お待ちしています。

◎ヨーガ教室◎

- 日時：8月18日 9月15日 29日(水) 9:10～
- 場所：弘濟寺本堂
- 服装：動きやすい服
- 参加料：1000円／1回

☕ 体験後お茶のサービスあります

大好評!!

おしえてくらさい☆こたえ

みなさんからの質問に大黒がお答えします

Q. お盆は七月十五日と八月十五日とありますが、どう違うのですか？

A. 本来お盆は旧暦の七月十五日です。明治時代に旧暦から新暦に変わる時に各地域で日付の設定が分かれました。この辺りは八月十五日に行なう訳ですが、新暦の七月十五日(月)を変えなかった場合だとまだ梅雨が明けておらず、学校も休みになっていないかと言って旧暦の七月十五日だと(今年は八月二十四日：毎年変わる)毎年日付が変わってわかりづらい。新暦の七月十五日から一ヶ月遅れと決めれば旧盆のもともとの時季に近いし日付も固定されわかりやすい。という理由から八月十五日が定着したようです。

ややこしいですね

各地域では里帰りのためとか農村は七月が忙しいからとか、いろいろ理由があるようです。

足柄ハリカ HARIKA
ご法事のお返し物は品揃え豊富な
ハリカにお任せください。
飯沢51-4 火曜定休(祝祭日は営業)
TEL0465(74)5221 Fax0465(72)0483

おいしさに 心をこめて お届けの
みづほ野
0120-185-044

(有) 勝又
仏壇・仏具のご相談は勝又へ
塚原2705 仏具部 73-0004

広告募集中 お申込は(74)1717 玉野まで
・掲載規格 約3cm×6cm
・発行部数 約200部
・発行回数 年6回